

教科・「科目」	美術・「美術Ⅰ」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	実技・座学	1	全学科必修履修科目

1. 目標と評価規準

目標	絵画・彫刻・デザインの基礎的な制作を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	
評価の観点と比重	評価規準	評価の方法
美術への関心・意欲・態度 (30%程度)	創造的な美術の表現するために、主体的に取り組み、必要な知識・技能を身に付けることができた。	評価の観点を提示し、授業態度で評価する
発想や構想の能力 (20%程度)	自然や生活の中から美しさを感じ取り、創造的な表現の構想を工夫している。	評価の観点を提示し、提出課題で評価する
創造的な技能 (30%程度)	創造的な美術の表現するために、必要な技能を身に付け、表現方法を工夫できた。	評価の観点を提示し、提出課題で評価する
鑑賞の能力 (20%程度)	作品を通して美術文化を理解し、その良さや美しさ味わうことができた。	評価の観点を提示し、提出課題で評価する
使用教材等	高校生の美術Ⅰ(日本文教出版)	

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT活用
1 学期	4	オリエンテーション(授業の受け方、用具の使い方など)	教材 : スケッチブック、ポスターカラー 主要学習領域 : A表現(1)絵画・彫刻、B鑑賞 指導内容 : ・ポスターカラーの使い方(絵の具の溶き方、筆の使い方、用具の手入れ)	学習用パソコンへの資料配布と電子黒板で説明する。
	5	デッサン(手の描写、陰影のつけ方について)	〈教材〉鉛筆、スケッチブック 〈主要学習領域〉A表現(1)絵画・彫刻、B鑑賞 〈指導内容〉空間を把握する方法と理論・明暗・陰影等、表現の工夫	学習用パソコンへの資料配布と電子黒板で説明する。
	6	イメージ構成(画面構成、配色の工夫)	〈教材〉ポスターカラー、B4ケント紙 〈主要学習領域〉A表現(2)デザイン、B鑑賞、(3)映像メディア表現 〈指導内容〉①着色の基本・有彩色、無彩色 色相環②補色についての学習③色の三属性:色相・明度・彩度と、減法・加法混色④色の対比の理解	電子黒板で、過去の生徒作品を鑑賞する。生徒の制作途中の作品を、電子黒板で紹介する。
	7	ポスター制作(薬物乱用防止、犯罪被害防止)	〈教材〉ポスターカラー、4つ切りケント紙 〈主要学習領域〉A表現(2)デザイン、B鑑賞、(3)映像メディア表現 〈指導内容〉①配色の応用②文字と絵、背景のバランスを考えた画面構成についての学習	電子黒板で、過去の生徒作品を鑑賞する。生徒の制作途中の作品を、電子黒板で紹介する。
2 学期	11	木彫制作・彫刻刀の使い方(基本) ネームプレート制作	〈教材〉桂材、彫刻刀、紙やすり 〈主要学習領域〉A表現(2)デザイン、B鑑賞 〈指導内容〉①彫刻刀の安全な使い方・管理について理解する②日本古来の木彫等を知り、木彫に対する理解を深める	電子黒板で、身近なところで使われているユニバーサルデザイン製品や日本古来の木彫作品を鑑賞する。彫刻刀の使い方のDVDを見て、彫刻刀の安全な使い方の学習をする。
	12	木彫制作・彫刻刀、小刀の使い方(応用) スプーン制作(持ちやすい形、使いやすい形)	〈教材〉桂材、切り出しナイフ、彫刻刀、鋸、紙やすり、ワックス 〈主要学習領域〉A表現(2)デザイン、B鑑賞 〈指導内容〉①触覚で楽しむ彫刻(ユニバーサルデザイン)を体験する②さらに安全・管理について理解を深める	
3 学期	1			
	2			
	3			

備考	バランスのとれた成長のため、造形と色彩の理論と実技を、それぞれの課題や専門教科(工業科)の内容と関連づけながら学びます。 年間の教材費を一括徴収金で頂きます。
----	--